3年目の上小学校英語教育支援

みがき とぎすませ 国際感覚

大草クラス

↑「カントリーロード、線路は続くよどこまでも」英語で、思いっきり歌ったよね。また歌える日がきっとくる!

河口クラス

→テキサス・シャツは魔法のシャツ! クラス全員 心も体もテキサス気分★

嶋クラス

↑英語は上手下手じゃなくて、意思が伝わることが大切なんだよね。

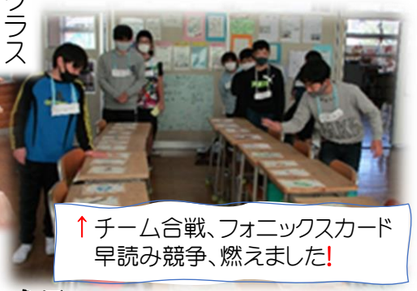
ポップアップの英語に、→皆でテンポ良くリピート!

大津クラス

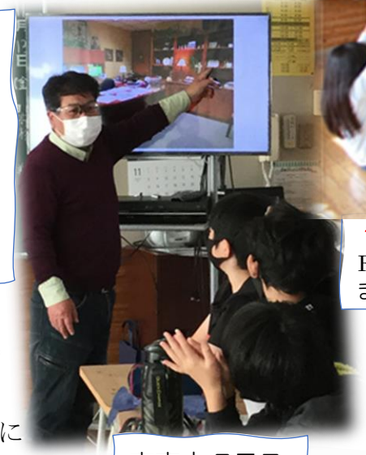
中川・吉川クラス

↑バナナの色は緑色や茶色と答える国もあるんだって!

荒川クラス



↑チーム合戦、フォニックスカード早読み競争、燃えました!



六本木クラス

→よく見てごらん! パサデナの小学校の教室です! 日本の学校とどこか違いがありますか?

↑Only works when I say Simon. Let's try! "Simon!" Raise both hands.　私が"サイモン"と言った時だけ動きます。やってみよう。"サイモン!" 両手を上げて!

英語クラス 子どもたちの殻を破る

2019年度から当協会が支援・協力してきた「上小学校英語教育支援事業」は今年3年目を迎えました。この事業を振り返ることは、今後の活動をより良いものとするために必要です。そこで、先生や子どもたちに感想を聞いてみました。

授業を受けた6年生の反響は…

- 体を使ったゲームが、とても面白かった。
- 文法のテキスト学習が分かりやすく、パズルのように単語を合わせて文が作れるようになったのが嬉しい。
- パサデナ市の学校の中の様子を見ることができて楽しかった。
- カントリーロードの英語バージョンが、しっかり歌えるようになった。
- 外国に行って、多くの人とコミュニケーションをとってみたいと思った。

2020年度6学年担任の感想は…

- 1時間の中に、体を使った身体表現や書く活動などがあると、英語学習に限らず、より学習に向かう姿勢が高まることを私自身学ぶことができました。
- 子どもの実態から座学中心の授業に限界を感じていた折、秦野パサデナ友好協会の皆様の授業は、毎回、バラエティに富み、子どもたちはこうした学習を楽しみにしていました。
- 特に外国（パサデナ市）の学校の様子を学ぶ学習では、子どもたちは大変刺激を受けている様子が見られ、世界に目を向ける素地が養われていると思いました。

2019年度1年目の成果

パサデナ市やアメリカに親近感持つ

授業では、パサデナ市(またはアメリカ)の小学校や町の様子から、共通点や相違点を見つけ出し、外国の文化や言語についての興味・関心が高まりました。

英語で伝える楽しさを体感

短い英文で、自分が知っている単語や簡単な英語で伝えてみることの良さを次第に感じ始め、自己紹介や上地区・上小学校の良さを紹介するなど、講師と共に楽しく充実した時間を過ごすことができました。

2020年度2年目の成果

新型コロナウイルス感染防止の観点から学校の教育活動が制限されることになり、本事業もその影響を受けました。学校とも協議を進め感染対策を十分とる中、11月に再開することができました。

11月は、六本木さん、嶋さん、12月は、荒川さん、中川さん、吉川さん、1月は大草さん、大津さん、河口さんが講師を担当しました。講師の感想にもありますように、互いの授業を見学するなどして、講師一人ひとりの良さが出る授業スタイルを目指しました。

この楽しく充実した時間の中で、子どもたちは自らを表現するきっかけができ、これまでの自分を覆っていた殻を破っていく様子が伝わってきました。これは英語の時間に限らず様々な教科や学校行事への参加姿勢にも反映されているようです。　　(担当　中村克己　大草淳一　三武裕介)

講師にとっても、良い機会

- グローバル化社会を生きる子どもたちの将来に向けて、この体験が生きる糧になる良いプレゼントになった。この企画の存在は学びのおもしろさを広げるものとなっている。
- 自ら楽しく英語を使う姿を見せることは、子どもたちに素晴らしい影響を与えると思う。英語好きをたくさん生み出してほしい。
- 2年間参加させていただいたが、新しい話題が提供できず同じ話になってしまった。
- 自分の指導力向上についても研修することができ、有意義であった。
- 子どもたちが、みんな素直で、とても楽しく活動できた。
- 他の講師の授業の見学により、自分の授業スタイルを作り上げることができた。
- 子どもたちは皆、想像以上に英語表現に慣れ親しんでおり、伸び伸びと個性的な発表ができることに驚いた。